

2011年6月3日



第13期(2011年3月期) 決算のご説明

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
(JASDAQ, 証券コード8462)

本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券及び当社が管理運営するファンドへの投資勧誘を目的とするものではありません。また、本資料に掲載されている事項は資料作成時点において入手した情報に基づいたものですが、その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。今後、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

この資料での数値は、特に指定がない限りすべて2011年3月末現在のものです。

1.	本資料における記載数値について	…	3
2.	経営環境	…	4
3.	第13期決算概要	…	6
4.	上場企業紹介	…	10
5.	投資活動の状況	…	11
6.	今後の方針	…	14
【参考】	連結決算数値	…	16
	会社概要	…	18

1.本資料における記載数値について

当社では連結での決算を行っておりますが、当社の経営成績及び財務状態をよりの確に表すため、本資料では、基本的に子会社及び投資事業組合の**当社持分のみを連結した財務数値を記載**しております。

【連結の対象となる子会社及び投資事業組合】

連結子会社 : 100%出資子会社1社 投資事業組合26組合
出資金総額 : 29,256百万円
(うち、外部出資者の持分 25,327百万円)

【投資事業組合を連結した場合の影響】

投資事業組合を連結することにより、外部出資者の組合持分が、当社の連結損益計算書、連結貸借対照表に含まれます。

○連結貸借対照表

- ・自己資本比率が低下します。外部出資者の組合持分が、当社の「総資産」に含まれるためです。

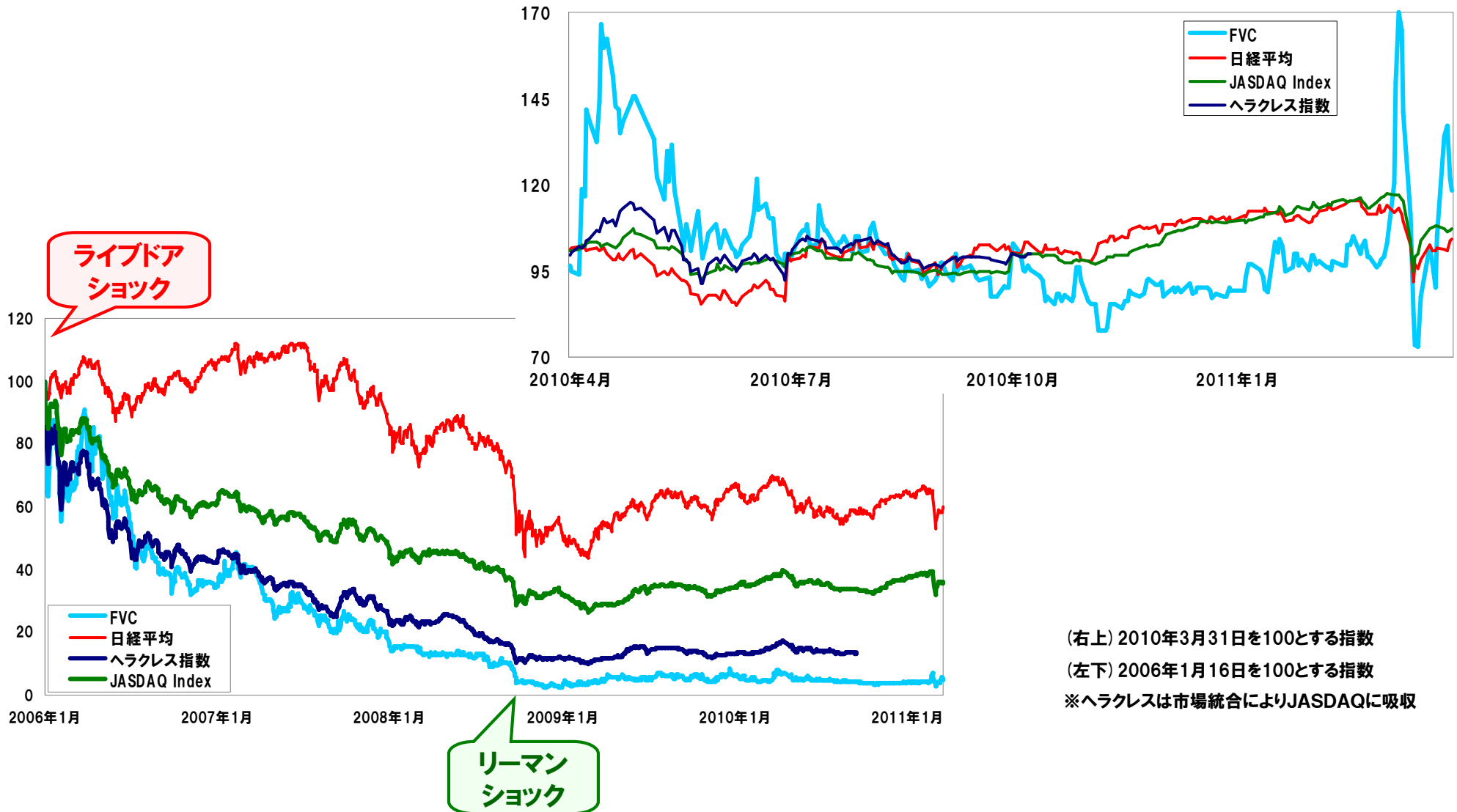
○連結損益計算書

- ・外部出資者の組合持分が売上や売上原価に含まれるため、損益にも外部出資者の組合持分が含まれます。外部出資者の組合持分である損益は、最終的に「少数株主利益」又は「少数株主損失」として控除されます。
- ・投資事業組合等管理収入が内部取引とみなされ、相殺消去されます。

※表示単位未満の数値処理の影響により、合計額が一致しない等のずれが一部に生じております。

2.1.株式市場の状況

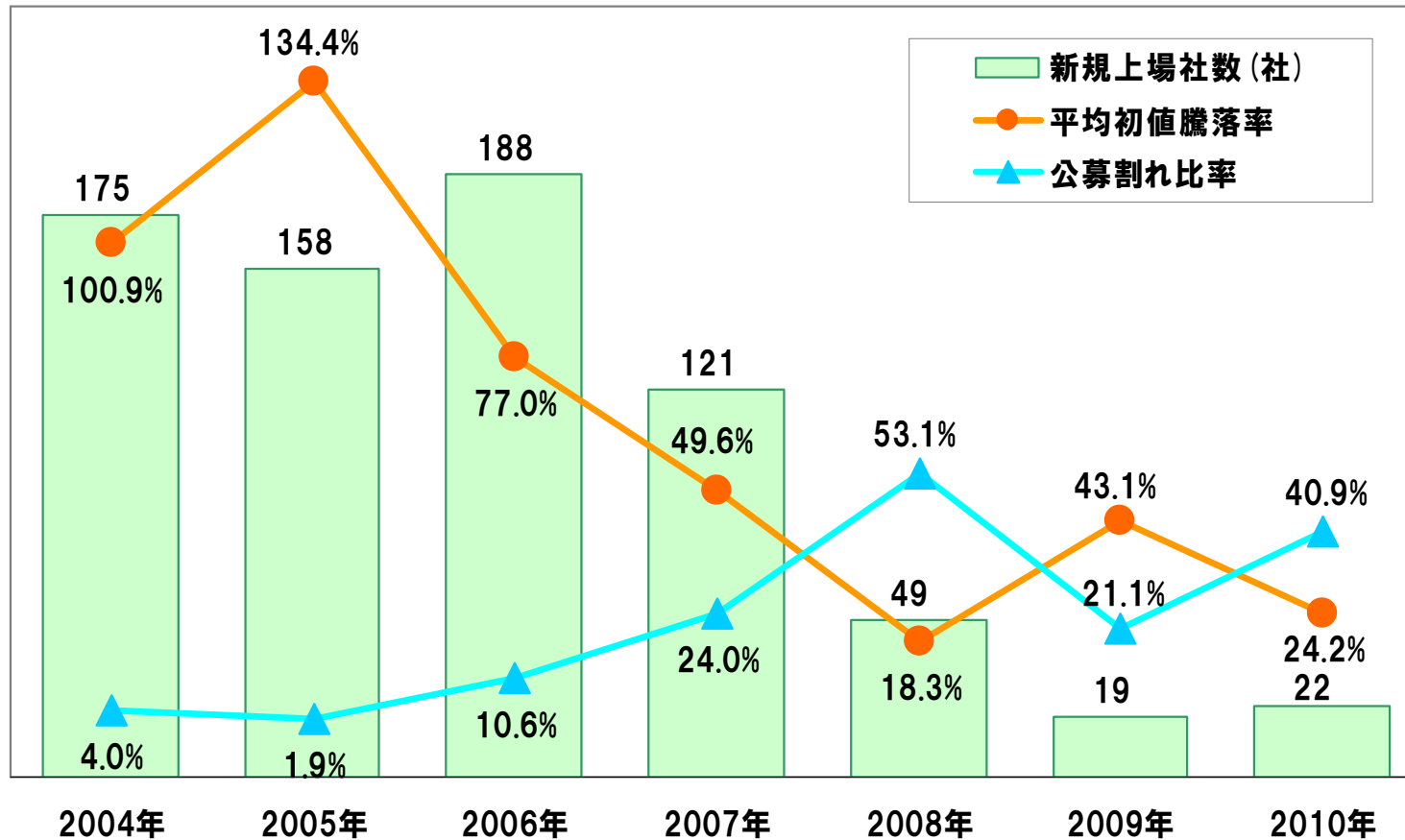
円高と震災の影響を如実に受けた1年となった 新興市場の低迷はいまなお続く



2.2.新規上場市場の状況

2010年は新規上場社数が微増となったが、IPOマーケットは依然低調

⇒投資先企業の上場による収益確保は依然困難



※初値騰落率

: { (初値 - 公募価格) / 公募価格 } × 100 (%)

公募割れ比率

: 新規上場企業のうち、初値が公募価格を下回った企業の比率

3.1.第13期決算

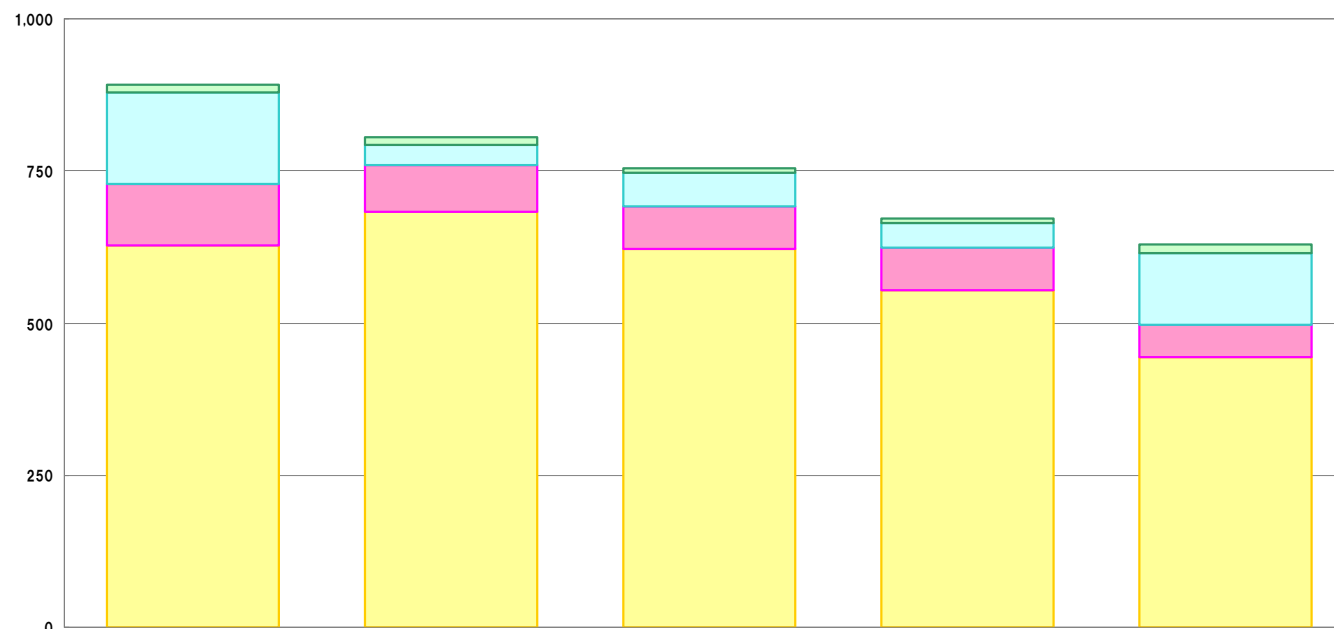
投資損益の回復が困難な中、経費削減を推し進めたものの、第9期から5期連続しての赤字計上となった

	第11期 2009年3月期 2008/4-2009/3	第12期 2010年3月期 2009/4-2010/3	第13期 2011年3月期 2010/4-2011/3	対前期 変化
単位:百万円				
売上高	755	674	631	△42
営業損失(△)	△738	△517	△271	+246
経常損失(△)	△789	△577	△307	+270
当期純損失(△)	△821	△599	△333	+265
純資産	871	408	101	△306
総資産	2,565	1,903	1,406	△496
自己資本比率	34.0%	21.1%	6.2%	△14.9

3.2.売上高の内訳・経年比較

投資事業組合管理業務による売上高の減少が響き、減収となった

(単位:百万円)

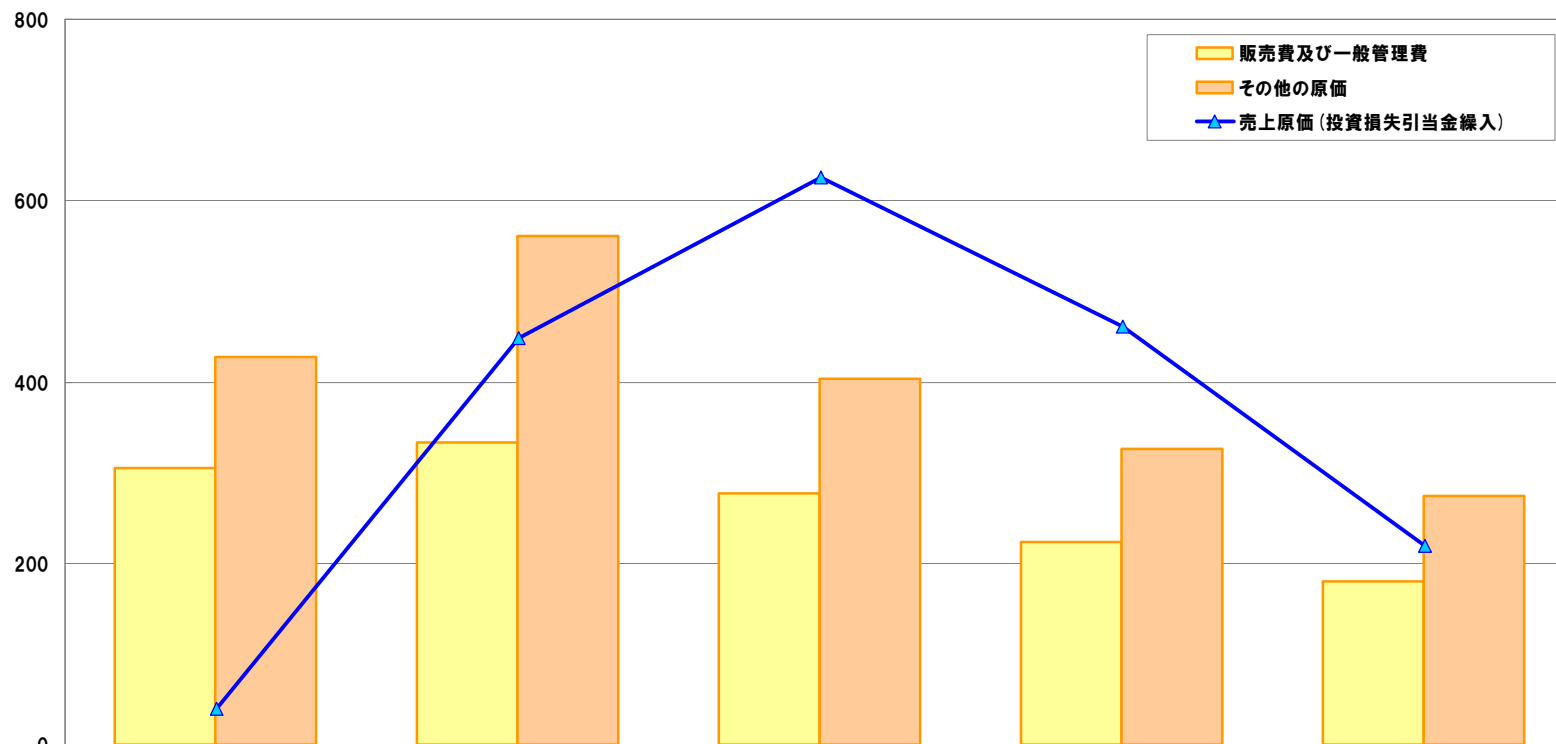


単位:百万円	第9期 2006/4-2007/3	第10期 2007/4-2008/3	第11期 2008/4-2009/3	第12期 2009/4-2010/3	第13期 2010/4-2011/3	第13期構成比
投資事業組合管理業務	627	682	622	554	444	70.4%
コンサルティング業務	101	77	69	69	53	8.4%
営業投資有価証券売上高	151	33	56	41	117	18.6%
その他	12	14	7	8	16	2.6%
計	892	807	755	674	631	100.0%

3.3. 諸経費及び投資損失引当金繰入額の推移

一層の経費削減を推進 投資損失引当金の新規繰入額は縮小したものの、想定を上回る水準となった

(単位:百万円)



単位:千円

	第9期 2006/4-2007/3	第10期 2007/4-2008/3	第11期 2008/4-2009/3	第12期 2009/4-2010/3	第13期 2010/4-2011/3
販売費及び一般管理費	304,634	332,638	276,979	223,903	180,410
その他の原価	427,061	560,555	403,650	325,745	274,479
投資損失引当金繰入額	38,948	448,673	626,100	461,076	219,041

※その他の原価 : 売上原価として計上する営業部門における活動経費

3.4.営業投資有価証券にかかる損益の詳細

キャピタルゲインを実現できず 投資損失引当金繰入が想定以上に膨らみ、投資損益は赤字続く

(単位:千円)

	上場 有価証券	未上場 有価証券	減損	投資損失引当金 新規繰入	合計
①営業投資有価証券 売却高 ※1	6,540	109,044	-	-	115,584
②売却原価	1,045	315,574	107,337	-	423,957
③売買損益 (①-②)	5,494	△206,530	△107,337	-	△308,372
④投資損失引当金 繰入額(△戻入額)	-	△202,056	△67,542	219,041	△50,557
会計上損益 (③-④)	5,494	△4,473	△39,795	△219,041	△257,814

※1 損益計算書上の「営業投資有価証券売上高」には、投資先企業株式・債券からの配当・利子を含むため、本表の数値とは異なります。

※2 未上場有価証券の投資損失引当金繰入額(△戻入額)には、社債償還等による戻入額が含まれています。

4.上場企業紹介

えひめファンドの投資先である(株)ピーエスシーがJASDAQに上場

上場日 2011年3月23日



株式会社ピーエスシー

アーリー投資企業

愛媛県松山市

JASDAQスタンダード上場 3649

医療機関向けソフトウェア製品の企画、開発、販売及びメンテナンスサービスの提供

投資時点
株価

50円

⇒

上場初値

1,020円

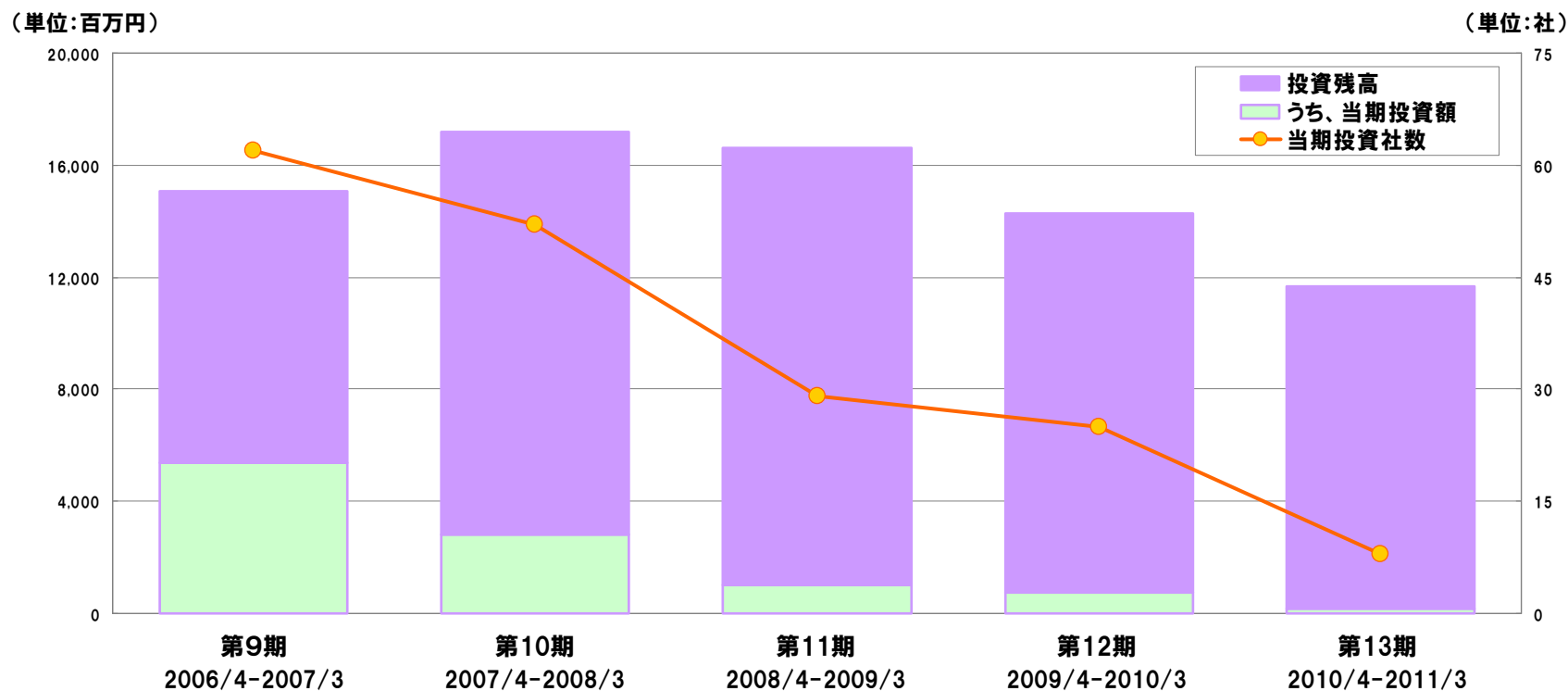
上場初値
投資倍率

20.4倍

※分割考慮後

5.1.投資金額・社数の推移

運用環境の悪化を受けて新規投資額が減少、2008年3月期をピークに投資残高は減少傾向



投資残高	15,045	17,186	16,591	14,274	11,670
うち、当期投資額	5,355	2,814	1,032	741	186
当期投資社数[右軸]	62社	52社	29社	25社	8社

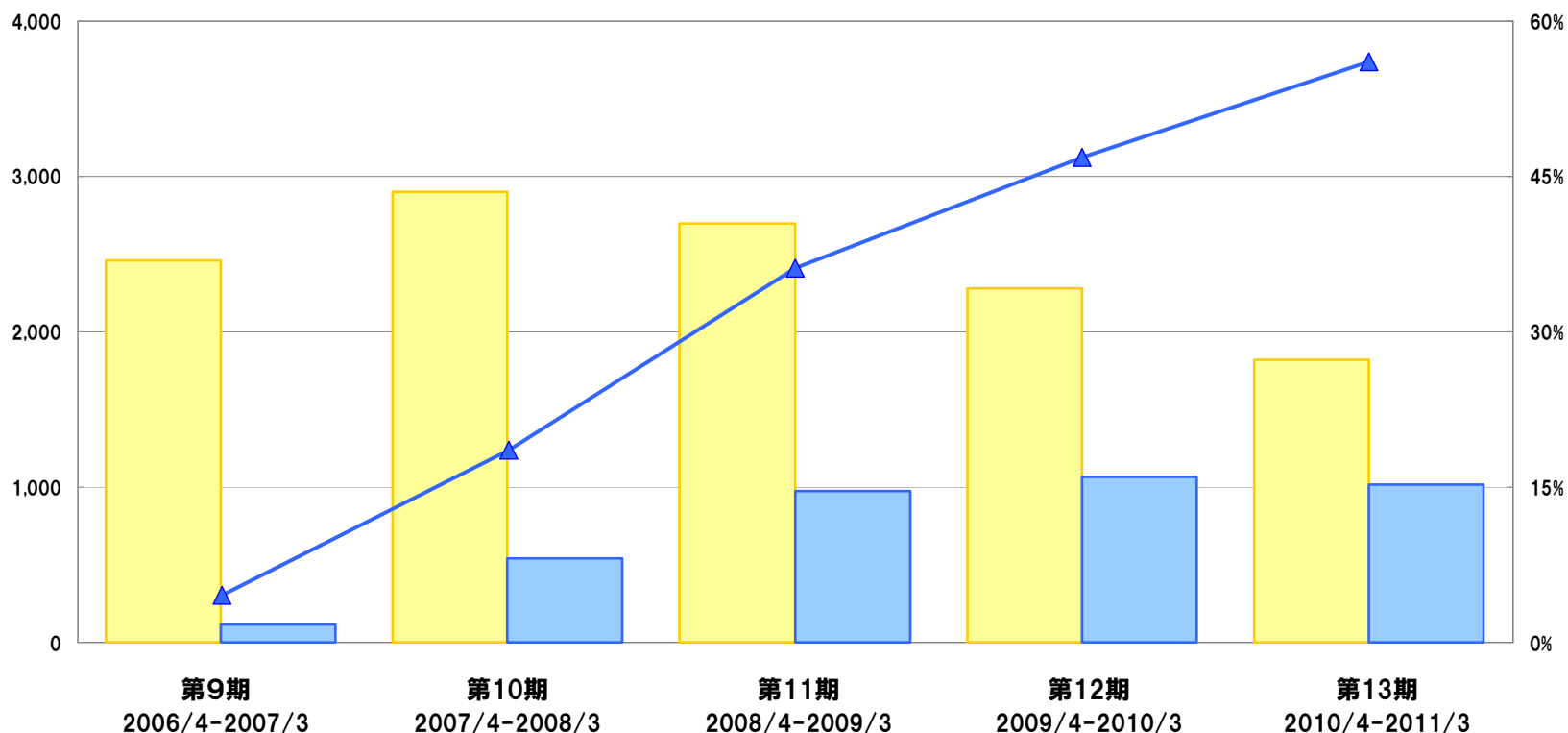
1社当たり投資金額※	86.3	54.1	35.6	29.6	23.4
------------	------	------	------	------	------

※ 1社当たり投資金額 = 当期投資額 ÷ 当期投資社数

5.2. 営業投資有価証券と投資損失引当金の推移

ベンチャー企業にとっての経営環境は厳しいまま変わらず、引当金残高は減少したものの引当率は上昇

(単位:百万円)



単位:百万円

	第9期 2006/4-2007/3	第10期 2007/4-2008/3	第11期 2008/4-2009/3	第12期 2009/4-2010/3	第13期 2010/4-2011/3
■ 営業投資有価証券	2,463	2,900	2,700	2,282	1,821
引当金繰入額 (△戻入額)	△100	384	449	91	△50
■ 引当金残高	112	540	977	1,069	1,020
▲ 営業投資有価証券 に対する引当率	4.6%	18.6%	36.2%	46.8%	56.0%

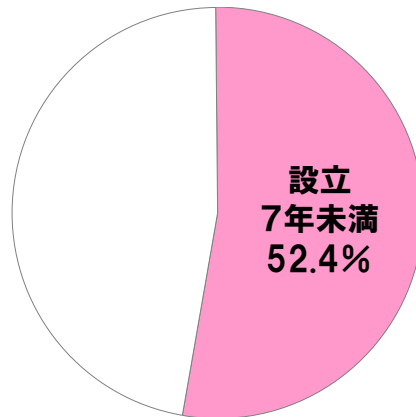
5.3.投資残高ポートフォリオ（2011年3月末現在）

投資残高金額 11,670百万円

投資残高社数 159社

(金額ベース)

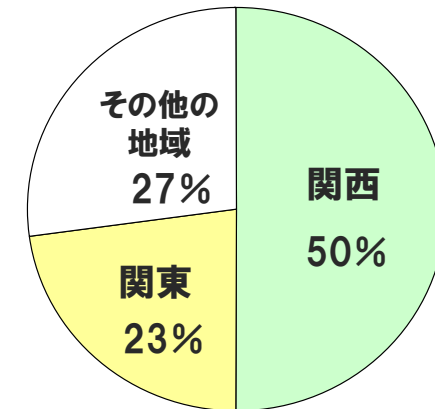
設立年別分類



※追加投資においても初回投資時点の設立経過年数で計算しております。

(金額ベース)

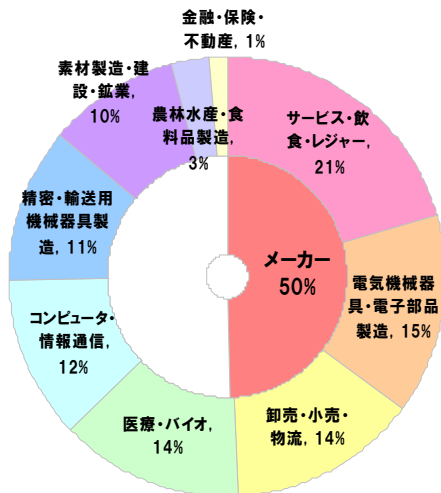
地域別分類



関西・・・大阪(24%)、京都(12%)、兵庫(8%)、その他(6%)
 関東・・・東京(18%)、その他(5%)
 その他の地域・・・東北(12%)、北陸(6%)、その他(9%)

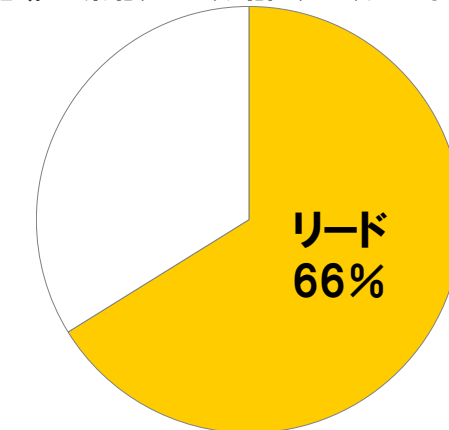
(金額ベース)

業種別分類



(社数ベース)

リードインベスターとして投資している案件



※初回投資時点を基準に計算しております。

28社に非常勤役員を派遣しています。

6.1.経営体制の変更

創業社長の川分が退任、現営業推進本部長の今庄を中心に経営体制を刷新

現体制

代表取締役社長	川分 陽二
取締役	今庄 啓二
取締役	中山 淳
取締役	小川 淳
取締役	鈴木 智久
	(新任)
監査役	岩坪 安浩
監査役(非常勤)	岡部 陽二
監査役(非常勤)	小川 忠久

新体制

(退任)	
代表取締役社長	今庄 啓二
(退任)	
取締役	小川 淳
取締役	鈴木 智久
取締役	松本 直人
監査役	岩坪 安浩
監査役(非常勤)	岡部 陽二
監査役(非常勤)	小川 忠久

昇任取締役の略歴

今庄 / 現取締役営業推進本部長：2008年9月以来、本部長として営業部門を統括

松本 / 現執行役員西日本投資部長：新卒採用2期生として2002年4月に入社以来、幅広くVC業務を経験

退任取締役の今後

川分 / 退任後、ファウンダーとして投資先企業の育成支援に関与

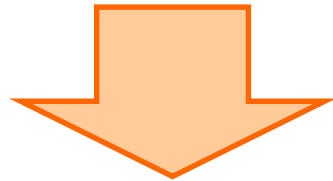
中山 / FVCアドバイザーズ株式会社の経営に専念

6.2. 今後の方針

基本路線を踏襲しながら、事業ドメインの拡大による収益体質の向上を目指す

【創業理念】

信用がないために資金を調達できないが、
資金さえあれば大きく成長できる企業にリスクマネーを
提供し、経営者の夢の実現を応援する



【旧来の事業定義】

上場を目指すベンチャー企業への投資業



【新たな事業定義】

金融的アプローチ手段を備えた
ベンチャー・中小企業支援業

上期中にインキュベーション
オフィスの受託運営を開始予定

【参考】連結貸借対照表推移（主要項目抜粋）

（単位：百万円）

	第12期期末 2010年3月末	第13期期末 2011年3月末	増減額	備 考
流動資産	10,937	8,091	△2,846	
現金及び預金	3,690	3,375	△315	主としてファンド組み入れの進捗(当期186百万円)により減少
営業投資有価証券	14,274	11,670	△2,604	売却(同1,959百万円)、減損(同815百万円)の影響が新規投資を上回ったため減少
投資損失引当金	△7,059	△6,975	84	引当済であった未上場株式の売却及び減損の影響が投資損失引当金の新規繰入を上回ったため、残高は減少
その他	31	20	△11	
固定資産	73	51	△22	
流動負債	414	344	△70	
固定負債	1,156	1,079	△77	
純資産	9,440	6,719	△2,721	
株主資本、その他の包括利益累計額、新株予約権	410	103	△307	新株予約権行使等により増加するも、当期損失の影響(333百万円)からトータルでは縮小
少数株主持分	9,029	6,615	△2,414	主として営業投資有価証券の売却により、ファンド出資者持分が目減りしたため減少
総資産	11,011	8,143	△2,867	

【参考】連結損益計算書推移（主要項目抜粋）



Future Venture Capital Co., Ltd.

（単位：百万円）

	第12期 2010年3月	第13期 2011年3月	増減額	備 考
売上高	362	830	468	
投資事業組合管理収入	-	-		個別決算での主要売上であるファンドからの管理報酬等は、連結決算では内部取引となるため相殺
営業投資有価証券売上高	285	764	479	
その他	77	66	△11	
売上原価	4,101	2,964	△1,137	
営業投資有価証券売上原価	2,995	2,774	△221	売却が増加(735百万円)するも、減損の縮小(956百万円)により減少 なお売却有価証券の多くは、予め投資損失引当金を積み上げていたものであり、 投資損失引当金の戻入と両建てで計上している
投資損失引当金繰入額 (△戻入額)	780	△84	△864	上記投資損失引当金の戻入(1,586百万円)により、減少
その他の売上原価	326	274	△51	営業関連経費(営業部門の人件費含む)の削減により減少
売上総損失(△)	△3,738	△2,133	1,605	経費削減、運用損失の減少により、赤字幅が縮小
販売費及び一般管理費	238	193	△45	経費削減の影響により減少
営業損失(△)	△3,977	△2,326	1,650	
経常損失(△)	△4,033	△2,358	1,675	
税引前当期純損失(△)	△4,043	△2,364	1,679	
少数株主損失(△)	△3,456	△2,042	1,414	連結しているファンドに帰属する損益のうち、当社以外の外部出資者持分に係る 損益を控除するもの
当期純損失(△)	△599	△333	265	

【参考】 会社概要 (2011年3月末現在)



- **会社名** : **フューチャーベンチャーキャピタル株式会社 (FVC)**
- **設立年月日** : **1998年9月11日**
- **資本金** : **1,984百万円**
- **発行済株式総数** : **46,869株**
- **株式公開市場** : **大阪証券取引所JASDAQ (8462)**
- **所在地** : **京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町659番地
烏丸中央ビル8階**
- **従業員数** : **33名**
- **事業内容** : **未公開企業投資業務、投資事業組合の企画・運営
コンサルティング業務など**